

2016年11月21日

日本ユニシス
九州フィナンシャルグループの経営統合の一環として、肥後銀行、鹿児島銀行
から受注した市場系システムが本格稼働開始
～ 地銀シェア No.1 の Siatol[®]シリーズで、両行の市場系プラットフォームを統合 ～

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：平岡 昭良、以下 日本ユニシス）は、株式会社肥後銀行（本店：熊本県熊本市、頭取：甲斐 隆博 氏、以下 肥後銀行）と株式会社鹿児島銀行（本店：鹿児島県鹿児島市、頭取：上村 基宏 氏、以下 鹿児島銀行）に市場系業務のSTP（Straight Through Processing）^(注1)化を実現する次世代市場系統合管理システム「Siatol シリーズ^(注2)」を導入し、このたび両行にて本格稼働を開始しました。

日本ユニシスの「Siatol シリーズ」は、市場系フロント・バック・ミドル機能を総合的に備えており、徹底したSTP化により、肥後銀行、鹿児島銀行の市場系業務の効率化や最適化を支援し、市場運用業務の強化を実現します。

また、既に肥後銀行、鹿児島銀行で導入済みの国際系システムと「Siatol シリーズ」の連携を強化しており、更なる業務効率化を実現しています。

なお、「Siatol シリーズ」のフィナンシャルグループへの導入は今回が初めてであり、経営統合による相乗効果の最大化に寄与できるシステムとして、今後もフィナンシャルグループ対応を含めた機能拡充を図っていきます。

当社では、両行での市場系システム稼働の実績をもとに地方銀行への「Siatol シリーズ」の販売体制を強化し、今後4年間で7億円の販売を目指していきます。

以上

注1：STP（Straight Through Processing）

業務プロセスの視点を重視し、意思決定から発注、決済、受渡しまでの一連の過程を、人手を介さずに全てを電子的に行います。

注2：Siatol シリーズ

金融機関の市場関連部門で必要とされるフロント・バック・ミドル機能を網羅し、中核に「市場系統合 DB」を配置し、資金証券業務全般をカバーする日本ユニシスの市場系システム群の総称です。

■関連リンク総合資金証券管理システム『Siatol-NE』 <http://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/siatol/>市場取引管理システム『Siatol-FM』 <http://www.unisys.co.jp/solution/lob/fs/siatol-fm/>

※Siatol は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。